



認知症とは、さまざまな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな障害が起こり、生活するうえで支障がでている状態をいいます。認知症という言葉は知っていても、「親や身近な人が、認知症になったらどうすればいいかわからない」「そんな不安を抱いている方は多いのではないだろうか。そもそも認知症って何？ どう接したらいいの？ 予防や治療方法は？ どこに相談するの？ みなさんは認知症のこと、どこまでご存知ですか。

認知症はだれにでもなる可能性のある病気です。他人事ではなく自分たちの問題として、認知症を知ることからはじめてみませんか。

入場無料

認知症を知る講演会

～寸劇で見る認知症の人の世界～

日時 9月19日(土)午後2時～午後3時30分
(開場:午後1時30分から)

場所 市民文化センターアクロス 小ホール

講師 NPO法人認知症ケア研究所「劇団いくり」

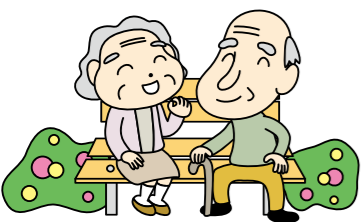
内容 認知症の原因や症状、上手な対応のポイントなどを、寸劇を交えて楽しく学べます

申込 9月17日(木)までに電話で申込みください



「劇団いくり」とは？

認知症に関する知識と理解の普及を目指し、茨城県を中心に講演を行っている現役の介護職員による劇団です。日々接しているからこそ分かる認知症の方の“真の姿”。彼らの迫真の演技をぜひご覧ください。



市地域包括支援センター ☎34-0324

65歳以上の7人に1人が
認知症

認知症サポーター養成講座
を行っています

市では、認知症高齢者などにやさしい地域づくりを目指し、認知症への理解を深めるための普及・啓発活動として、「認知症サポーター」の養成に取り組んでいます。

「認知症サポーター」とは、なにか特別なことをする人ではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かい目で見守る人のことです。

認知症サポーター養成講座の受講を希望する方は、お気軽に問い合わせください。

9月は

「茨城県認知症を知る月間」

です！

9月10日は下水道の日

—— 良いくらし 地下で支える 下水道 ——



結城市下水浄化センターの全景

約54年前、日本はほかの先進国と比べて、下水道の普及が遅れていました。そこで建設省（現在の国土交通省）が、1961年9月10日を「全国下水道促進デー」として制定しました。2001年には、より親しみのある「下水道の日」と名称が変わりました。由来として、下水道は「雨水の排除」を役割に担い、立春から数えて220日目ごろが、台風襲来シーズンであるので、9月10日が「下水道の日」となりました。



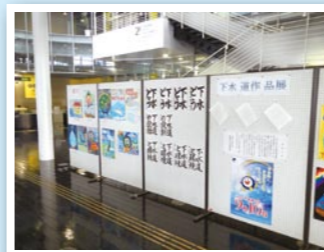
「下水道の日」イベント

- 日時 9月5日(土) 午前9時30分～午後3時
- 場所 ヨークベニマル 結城四ツ京店店舗前(結城11839-1)
- 催事 下水道なんでも相談コーナー・コンポスト(肥料)配布 ポップコーン・かき氷 金魚すくい (いずれも無料)
- 協力 結城市管工事協同組合 ヨークベニマル結城四ツ京店



下水道の日にちなみ、イベントの開催および
下水道促進週間コンクール作品の展示を行います。
お気軽にお立ち寄りください。

下水道促進週間コンクール作品の展示



昨年度と展示場所が
変わりました。

- 日時 9月12日(土)～9月23日(水)
- 場所 しるくろーど1、2階 通路および空き店舗部分
- 協力 しるくろーど

下水道の大切な役割

- 暮らしを清潔にする
家庭から出たトイレの水・お風呂の水など、生活をしていく中で発生した汚水を、浄化センターできれいな水に浄化します。
- 浸水からまちと私たちの身を守る
大雨が降るとまちが雨水で溢れてしまいます。道路側溝をとおして、雨水を流すことにより、まちを浸水から守り、私たちの身も守ります。
- 水質を保全する
家庭や工場から出た汚水は、きれいに浄化してから川に放流するので、水が汚れることはありません。

浄化センターを見学してみませんか？

- 水がきれいになっていく仕組みを、実際にご覧ください。
- 見学時間は約1時間です。
- 団体・グループでご利用ください。
- 事前に下水道課に申し込みください。
- 見学時間は平日の午前10時から午後3時までです。



市下水道課 ☎34-1612